

授業参観 13:30～13:50

第3回 学校運営協議会 次第

13:50～15:30 (校長室)

<司会：教頭、記録：CS ディレクター>

1 開催要件（委員の過半数の出席）の確認

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 議長の選出（出席した委員の中から互選）

5 前回会議録確認

6 熟議

グランドデザイン「自分から学ぶ子」「たくましい子」を目指して

（１）全国学力・学習状況調査を受けて

（２）「家庭学習の手引き」について

7 報告

8 連絡

（１）次回 令和8年2月5日（木）13:30～15:30 会場：校長室

（２）次回の熟議内容の確認

（３）次回議長の選出

閉会

参加者名簿

< 委員 >

会長	杉山 邦司	すぎやま くにじ
副会長	露木里江子	つゆき りえこ
委員	小野 逸子	おの いつこ
委員	白井 竜之	しらい たつゆき
委員	鈴木美枝子	すずき みえこ
委員	中村 毅	なかむら たけし
委員	鈴木 大輔	すずき だいすけ
委員	廣瀬亜紀子	ひろせ あきこ

< オブザーバー >

東部協働センター	神谷 匠	かみや たくみ
----------	------	---------

< 学校 >

校長	勝亦 英彦	かつまた ひでひこ
教頭	町田 全広	まちだ まさひろ
CS担当	鈴木 卓	すずき たく
CSディレクター	小林 知美	こばやし ともみ

< 教育委員会 >

教育総務課 指導主事	鈴木 陽子	すずき ようこ
------------	-------	---------

学校運営協議会 年間計画

	日 時	内 容	備 考
第 1 回	5 月 1 3 日(火) 13:30～15:30	・ 学校運営の基本方針 ・ 学校評価について ・ 夢育やらまいか事業	
第 2 回	9 月 3 日(水) 13:15～15:15	・ 前期の学校評価について ・ 今後の取組、支援策 「きれいなあいさつ、きれいな言葉、きれいな心」の推進	
第 3 回	11月21日(金) 13:30～15:30	・ 全国学力・学習状況調査を受けて ・ 「家庭学習の手引き」について	
第 4 回	2 月 5 日(木) 13:30～15:30	・ 学校関係者評価 ・ 次年度学校運営の基本方針 ・ 学校運営協議会の自己評価	

令和7年度 第2回 飯田小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年9月3日（水） 13時35分から15時00分まで
- 2 開催場所 飯田小学校 校長室
- 3 出席委員 杉山邦司、露木里江子、小野逸子、白井竜之、鈴木美枝子、中村毅、
鈴木大輔、廣瀬亜紀子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 神谷匠（東部協働センター）
- 6 学 校 勝亦英彦（校長）、町田全広（教頭）、河村拓実（生徒指導）
鈴木卓（CS担当）、小林知美（CSディレクター）
- 7 傍聴者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 小林知美
- 9 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から鈴木大輔委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

（1）前期の学校評価について

（2）今後の取組、支援策

「きれいなあいさつ きれいな言葉 きれいな心」の推進について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）前期の学校評価について

教頭から資料に基づき、前期の学校評価についての説明があり、委員からは、以下の意見があった。

- ・ あいさつは、アンケート通りかなという印象。全体的に、東部中学校区はあいさつができていて、誇らしく思う。（杉山委員）
- ・ コロナ過と比べマスクをしなくてもよくなり、明るいあいさつができるようになってきた。児童アンケート8の『目標に向かって運動を楽しむことができる』では、子供にとって猛暑の中、外で遊べなかったり、登下校が送り迎えだったり運動のできる機会が減っているように感じる。今後、時代にどうやってついていくのか考えていかなければと思う。（露木委員）
- ・ 児童アンケートの10の『安全に気を付けて生活している』は、校内での評価のように思う。校外、特に西門付近では、交通ルールが守られていない。歩道と車道に分かれているにもかかわらず、車道を歩く子がいる。学童で迎えに来ている親も歩道を歩かない人がいる。親が見本を見せていかなければいけないと思う。（白井委員）
- ・ PTAのあいさつ運動のやり方を見直していて、来年から1～6年の全保護者対象に変えようと思っている。保護者アンケートの5の『家庭学習に取り組み、「できた」と感じるよう支援している』は、共働きが多く、平日支援が難しい。また、子供が自主的にやれる子ばかりではないので難しい。学校から、少し厳しくいってもいいのではと思う。（中村委員）
- ・ 児童アンケートの12『学校へ通うのが楽しい』で3・4に○をつけている子がいるのが心配。一人一人にそった支援が必要。できれば、子供達100%が学校に行くのが楽しいと思えるのが理想だ。（廣瀬委員）
- ・ 前回、公園でのトラブルがあり、警察が来て対応したと話した。その後、問題は減ってきている。（鈴木美委員）
- ・ この児童アンケートは、校内のことを言っていると思う。一步校外に出たら、言葉遣いが悪く、ルールを守っていないことが多い。（小野委員）

- ・ 関係が出来ていて、仲のいい子同士は呼び捨てにしている。(中村委員)
 - ・ 仲のいい友達同士は呼び捨てでもいいが、言葉遣いは心配。(小野委員)
 - ・ 放課後など、グラウンドから乱暴な声が聞こえてくる(白井委員)
 - ・ アンケート結果を受けて、学校・家庭・地域も色々を探りながらできることを協力しながら考えてやっていきたい。(鈴木大委員)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 今後の取組、支援策「きれいなあいさつ きれいな言葉 きれいな心」の推進について

生徒指導から資料に基づき、今後の取組、支援策の推進についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ やはり、あいさつは親だと思う。子供への影響は大きい。(小野委員)
- ・ 家庭だと思う。全てが悪いわけではなく、きちんとケアしている親もいる。今の世の中、子供が外に出る時、知らない人は、警戒するよう言わなくてはならない。何があるかわからないから、怖い。(鈴木美委員)
- ・ 家庭であいさつすることに賛成。大人同士でもあいさつできる方、できない方もいる。親があいさつしていなければ、子供はあいさつしない。今の時代、いきなりフレンドリーに声をかけられても、地域の人の顔がわからなければ、大人でも警戒してしまう。学校で取り組んでいるあいさつ賞は、貰いたくても、南校舎の子は用もないのに北校舎に行けないため、あまり貰えない(廣瀬委員)
- ・ 教員が南校舎にも行くよう心掛ける。あいさつは、「おはよう」だけでなく「こんにちは」もあることを話していく。(校長)
- ・ 小さい子の方があいさつしている。学年が上がると、あいさつをするのが照れくさい。家庭でもあいさつはするよう言っているが、どうフォローしていくかが難しい。校区指導員にはあいさつするよう話している。(中村委員)
- ・ 本人の資質によって大きな声であいさつできる子もいれば、できない子もいる。すごく頑張って声を出している子もいるから、大きな声じゃなくても認めてあげてほしい。人が嫌な気持ちになることをしなければ、自然と言葉や行動に表れると思う。遠回りになるが、相手のことを感じ取る力が育てばいいのではないか。(白井委員)
- ・ 家庭は大切。親が子供の声のトーンで子供の様子を感じ取れる余裕があるといい。学校が楽しいと答えていなかった子が挨拶できた時は、特にカードをあげられるといいと思う。実際、どこまで見届けるかは難しいと思うが、褒めていってほしい。(露木委員)
- ・ 隣、近所を大事にできるといい。畑にいて、声を掛けてもらえると、嬉しい。学校で指導しても、家庭でなくては、身につかない。家庭が大事。大人が見本を見せていく。(杉山委員)
- ・ 相手のことを思いやる気持ちが大切。顔を知っている人に会ったら、あいさつをする。大人が見本を見せていく。家庭と地域も協力していく。(鈴木大委員)
- ・ 保護者のあいさつ運動の時に、あいさつカードを配る等、何か工夫があったら教えてほしい。協力できることはしていきたい。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

CSコーディネーターよりコーディネーター研修会の参加報告があった。

司会から、第3回会議は、令和7年11月21日(金) 13時30分から校長室で開催する予定である旨の報告があった。



～ 全国学力・学習状況調査について ～

毎年6年生を対象に行われている全国学力・学習状況調査について、結果が報告されましたので、本校の分析結果と対応についてお知らせします。

今年度の本校の児童は、算数科の正答率は、全国・県と平均がほぼ同じ、国語科と理科の正答率は、全国・県の平均よりやや上回っていました。

この調査は、子供たちの学力や学習状況を把握・分析し、子供たちへの教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。この基本姿勢のもとに本校では、子供たちの学力向上に向け、指導の充実を図っていききたいと思います。

1 国語について

(1) 国語科に関する意識調査より

設問 ◎全国平均よりよい現れが出ている設問 ▲全国平均より落ちている設問	肯定的な回答の割合	
	本校	全国
▲国語の勉強は得意ですか。	56.2	61.4
◎国語の勉強は好きですか。	61.8	58.3
◎国語の授業の内容はよく分かりますか。	83.2	82.8
◎国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。	94.4	90.4
◎国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけていますか。	83.1	79.1
◎国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか。	86.5	81.8

(2) 国語の傾向

「書くこと」「話すこと・聞くこと」に関する事項では、安定した力が身に付いています。しかし、「読むこと」に関する事項や、漢字を正しく使うことにやや課題が見られました。

【問題例】

《全国と比較して正答率が高かった問題》

◎「ちらし」の一部を、「調べたこと」を基に詳しく書く問題

本校 73.3 全国 61.3

◎「話し合いの様子」における小森さんの発言を説明したものとして適切なものを選択する問題

本校 57.8 全国 53.3

《全国と比較して正答率が低かった問題》

▲「木村さんのメモ」の空欄アに入る適切な言葉を「資料2」の中から書き抜く問題

本校 76.7 全国 81.3

▲「ちらし」の下線部ア（このみ）、イ（あつい日）を、漢字を使って書き直す問題

ア 本校 77.8 全国 81.6

イ 本校 65.6 全国 72.1

(3) 本校としての対策

国語の学習が得意と答えた児童の割合は全校平均に比べ少ない結果でした。しかし、国語の学習が好きな児童や「将来役に立つ」と考えている児童の割合は高いです。

子供たちの主体性を育むため、課題解決の方法を選択したり、総合的な学習などの他教科と横断的な学習を設定したりして、必要感をもって学習に取り組んでいけるようにします。また、「国語が得意」と感じられるように、振り返りの場面で、自分の学びを実感することができるようにします。

「読むこと」に関する内容に関しては、どの学年も継続して家庭学習での音読（本読み）や読書を推奨し、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉える事ができるようにします。また、漢字の学習においても、家庭学習（書き取り）や漢字テスト等で取り組み、定着を図っていきます。また、作文や日記、普段の振り返りを文字で書く時には、習った漢字を用いて文を書くよう指導していきます。

2 算数について

（１）算数科に関する意識調査より

設問 ◎全国平均よりよい現れが出ている設問 ▲全国平均より落ちている設問	肯定的な回答の割合	
	本校	全国
▲算数の勉強は得意ですか。	53.9	60.3
▲算数の勉強は好きですか。	51.6	57.9
▲算数の授業の内容はよく分かりますか。	74.6	78.3
◎算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	94.4	91.6
◎小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか。	84.3	80.6
◎算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか。	84.3	83.3

（２）算数の傾向

「数と計算」「測定」の領域について、基礎的・基本的な力が身に付いていました。しかし、「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域に課題が見られました。

【問題例】

《全国と比較して正答率が高かった問題》

◎使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く問題

本校 54.4 全国 48.7

◎ $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、共通する単位分数と、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ が、共通する単位分数の幾つ分になるのかを書く問題

本校 35.9 全国 23.0

《全国と比較して正答率が低かった問題》

▲方眼上の五の図形の中から、台形を選ぶ問題

本校 42.2 全国 50.2

▲10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ問題

本校 33.3 全国 40.9

▲2022年の全国のブロッコリーの出荷量が2002年の全国のブロッコリーの出荷量の何倍かを、棒グラフから読み取る問題

本校 71.1 全国 78.7

（３）本校としての対策

算数は「得意」と答えた児童の割合が全国平均を下回る結果になりました。一方、「将来役に立つ」と考えている割合は高いことから、必要感を感じているものの苦手意識が強い傾向にあると考えられます。

問題の正答数から、通分する意味や、なぜその答えになるのかを考えることが得意であると分かります。一方で、図形の性質の理解やグラフから読み取る力、割合から解答を導き出すことが苦手であると考えます。

以上のことから、前学年までの内容を今一度、定着することができるよう、タブレット端末を用いて復習問題に取り組みをしていきます。

3 理科について

(1) 理科に関する意識調査より

設問 ◎全国平均よりよい現れが出ている設問 ▲全国平均より落ちている設問	肯定的な回答の割合	
	本校	全国
▲理科の授業は得意ですか。	76.4	78.4
▲理科の授業は好きですか。	77.5	80.1
▲理科の授業の内容はよく分かりますか。	88.7	88.9
◎理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	86.5	79.9
◎理科の授業では、問題に対して答えがどのようなになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか。	91.0	85.7
◎理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。	92.2	88.4

(2) 理科の傾向

「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全ての領域で、県・全国の平均回答率を上回っており、基礎的・基本的な力が身に付いています。しかし、記述式で理由を答える問題に課題が見られました。

【問題例】

《全国と比較して正答率が高かった問題》

◎ヘチマの花粉を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶ問題

本校 65.2 全国 45.6

◎乾電池2個のつなぎ方について、直列つなぎ、電磁石を強くできるものを選ぶ問題

本校 65.2 全国 55.1

《全国と比較して正答率が低かった問題》

▲レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気付きを基に、見いだした問題について書く問題

本校 16.9 全国 29.9

▲ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻き数の変え方を書く問題

本校 67.4 全国 78.0

(3) 本校としての対策

理科の学習が、将来、社会に出たときに役に立つと思っている児童の割合は、全国平均に比べ高く、必要感をもって学習に取り組んでいることが考えられます。しかし、理科の学習が好き・得意と答えた児童の割合は全校平均に比べ少ない結果でした。

理科の学習では、問題に対して予想（仮説）をしたり、観察や実験の結果から考察をしたりする力が大切になります。記述式の問題に課題があるので、理科の学習で考えたこと、分かったことを、言葉や文字で表す機会を増やし、さらに学習の定着を図ります。今後も、理科の学習の必要感をもたせ、理科の楽しさをより感じられるような取り組みをしていきます。

3 質問紙調査について

(1) 気になる設問について

設問 ◎全国平均よりよい現れが出ている設問 ▲全国平均より落ちている設問	肯定的な回答の割合	
	本校	全国
◎自分には、よいところがある。	92.1	86.9
◎先生は、あなたのよいところを認めてくれる。	97.8	92.2
◎先生は、授業やテストで間違えたところや、理解してないところについて、分かるまで教えてくれている。	94.4	87.4
◎将来の夢や目標をもっている。	96.7	83.1
◎困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談ができる。	82.0	70.6
◎学校に行くのが楽しい。	96.6	86.5
◎友達関係に満足している。	95.5	91.7
◎普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。	96.6	93.0
◎自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	92.1	78.1
◎分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	89.9	81.7
◎学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる。	89.9	84.9
◎学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	87.7	79.4
◎授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができている。	91.0	82.5
◎5年生までの学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器の活用について		
(1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	91.0	81.3
(2) 分からないことがあった時に、すぐに調べることができる。	89.9	89.2
(3) 楽しみながら学習を進めることができる。	92.2	85.5
(4) 画像や動画、音声を活用することで学習内容がよく分かる。	89.9	88.1
(5) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。	84.3	77.6
(6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。	96.6	84.6
(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる。	95.5	87.5
▲読書が好きである。	64.0	69.7

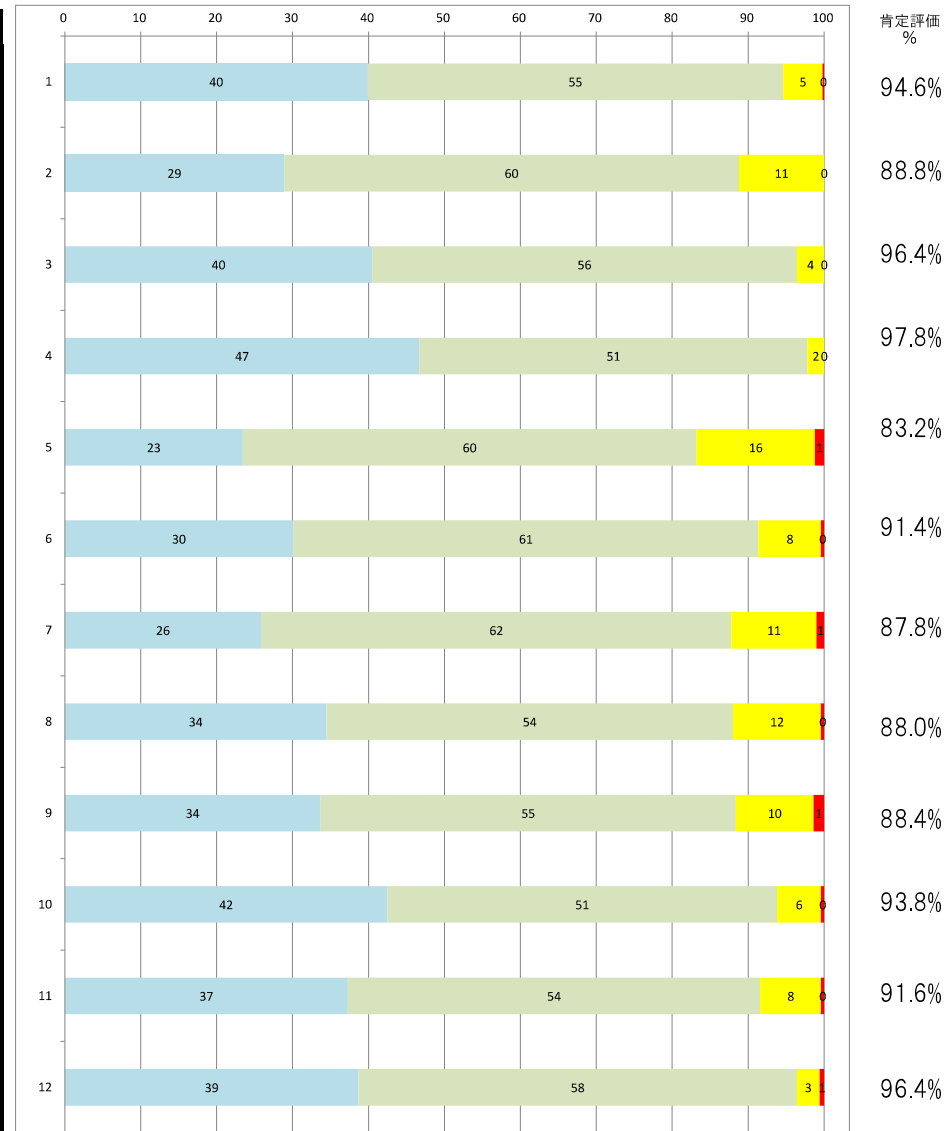
(2) 傾向と改善方法等について

- 質問紙調査から、自己肯定感の高まりや友達や先生との良好な関係がうかがえます。これからも、一人一人よさを認め、寄り添い、全ての子供の可能性を伸ばせるよう支援していききたいと思います。
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」数値が高いことから、家庭や地域からも温かく見守られていることが読み取れます。さらに、家庭や地域との連携を深め、協働しながら人づくりができるよう、持続可能な「コミュニティ・スクール」の活動を計画し実践を重ねていきます。
- ICT機器の活用効果は上がってきており、成果として表れていることをうれしく思います。今年は定期的なタブレットの持ち帰りを実施しています。さらに、活用方法を職員で研修をし、個別最適な学びの実現を目指していきます。
- 本校の研修は、児童が主体的に学ぶことができるよう、友達とのかかわりを通して学びの深まりを感じさせたり、次の学習に生かす振り返りの時間を設定したりしてきました。質問紙の回答から、その効果が出ていることが分かります。さらなる充実を図っていきます。
- 読書に関しては、学年ごと「おすすめの本10冊」読破を呼び掛けたり、国語の単元によって並行読書を行ったりしています。今後も読書週間や金曜読書等、本に親しむ機会を意図的に行っていきます。

令和7年度 保護者 学校生活アンケート（前期） 4点法 ポイント別割合

1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまり思わない 4 思わない

		質 問	1	2	3	4
やさしい子	1	お子さんが、あいさつをしっかりとできるよう支援している。	40	55	5	0
	2	お子さんが、正しい言葉遣いができるよう支援している。	29	60	11	0
	3	お子さんが、素直で思いやりの心をもって人と接することができるようにしている。	40	56	4	0
	4	お子さんが、学校のルールを守れるよう支援している。	47	51	2	0
自ら学ぶ子	5	お子さんが、じっくり家庭学習に取り組み、「できた」と感じるよう支援している。	23	60	16	1
	6	お子さんが、普段、人の話をしっかりと聴いたり、自分の思いを伝えたりできるように支援している。	30	61	8	0
	7	お子さんが、主体的に学ぶことができるよう支援している。	26	62	11	1
たくましい子	8	お子さんが目標に向かって運動に親しむことができるよう支援している。	34	54	12	0
	9	お子さんが、健康（早寝・早起き・朝ごはん、SNSやゲームの使用時間等）に気を付けて生活できるよう支援している。	34	55	10	1
	10	お子さんが、安全（自転車の乗り方、交通ルール、SNSやゲームのマナー、防犯、災害時等）に気を付けて生活できるよう支援している。	42	51	6	0
その他	11	お子さんが、夢や希望をもって生活が送れるよう支援している。	37	54	8	0
	12	飯田小学校は、誇れる（信頼できる）学校だと思う。	39	58	3	1



家庭学習の手引き（低学年）

浜松市立飯田小学校

家庭学習は、学校で学んだことを身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるために大切なものです。興味をもって学習に励み、学習習慣が身に付くことで、本校の研修で目指している「粘り強く考え、学びを深める」ことの基盤につながっていくと捉えております。また、キャリア教育の視点から、子供たちの将来的な自主自立の一助になると考えておりますので、御理解御協力よろしくお願いいたします。

学習時間の目安：学年×10分以上



【がくしゅうのめあて】

- いわれる まえに、じぶんから すすんで しゅくだいを します。
- ほんよみ プリント けいさんカード かきとりの しゅくだいを します。
- テレビを けして さいごまで しゅうちゅうして やります。

【学習環境】

- 学習するときは、できる範囲で近くにいてあげてください。
- 静かな環境の中で取り組ませてください。
- 明日の準備ができているか、お子さんと一緒に確認してください。
- お子さんの宿題を確認し、間違いがあった場合は直しをさせてください。



【家族で話し合った家での約束】

学習が定着、継続していけるように、できるだけ具体的で分かりやすい約束を立ててください。

- （例）
- ・かえったら、すぐにしゅくだいをする。
 - ・〇じまでに、20ぷんがくしゅうタイム
 - ・げつ・か・すいようびは、ノーゲームデイにする。
 - ・まいしゅうきんようびは、ノーテレビデイで、よみきかせや、おやこどくしょをする。

家庭学習の手引き（中学年）

浜松市立飯田小学校

家庭学習は、学校で学んだことを身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるために大切なものです。興味をもって学習に励み、学習習慣が身に付くことで、本校の研修で目指している「粘り強く考え、学びを深める」ことの基盤につながっていくと捉えております。また、キャリア教育の視点から、子供たちの将来的な自主自立の一助になると考えておりますので、御理解御協力よろしくお願いいたします。

学習時間の目安：学年×10分以上



【学習のめあて】

- まずは、しゅくだいをかならずやります。
- しゅくだいが終わったら、目安の時間までは、自分でべん強をします。
- テレビや音楽、ゲームをけして、しずかなところで学習します。

【学習環境】

- 生活のリズム（早寝・早起き・朝ご飯）や学習にふさわしい環境（テレビや音楽、ゲームを消す）を整えましょう。
- テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めましょう。
- 図鑑・地図・国語辞典・漢字辞典・様々な図書を、身近な場所に置くようにしましょう。
- 自分で明日の授業の準備をしたり、学習用具をそろえたりするようにしましょう。

【家族で話し合った家での約束】

学習が定着、継続していけるように、できるだけ具体的で分かりやすい約束を立ててください。

- （例）
- ・帰ったらすぐに宿題と自主学習
 - ・○時まで、○分学習タイム
 - ・月・火・水曜日は、ノーゲームで、自主勉タイム
 - ・毎週金曜日は、ノーテレビで、読書タイム（金曜読書）
 - ・○のつく日は、アウトメディア → 新聞を読む。



家庭学習の手引き（高学年）

浜松市立飯田小学校

家庭学習は、学校で学んだことを身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるために大切なものです。興味をもって学習に励み、学習習慣が身に付くことで、本校の研修で目指している「粘り強く考え、学びを深める」ことの基盤につながっていくと捉えております。また、キャリア教育の視点から、子供たちの将来的な自主自立の一助になると考えておりますので、御理解御協力よろしくお願いいたします。

学習時間の目安：学年×10分以上



【学習のめあて】

- 中学校に向けて、自主的に予習・復習に取り組みます。
- 家庭学習＝宿題＋自主学習と考えます。
- 「ながら学習」はせず(テレビ・ゲーム・音楽・スマホ・タブレットを消して)、静かな環境で学習します。

【学習環境】

- 生活のリズム(早寝・早起き・朝ご飯)や学習にふさわしい環境(テレビ・ゲーム・音楽・スマートフォンを消す)を整えましょう。
- ゲームをする時間、スマートフォン・タブレットなどの使用方法を決め、守らせてください。
- お子さん同士で通信している場合は、定期的にその内容をチェックするなどして、使い方を把握してください。
- 図鑑・地図・国語辞典・漢字辞典・様々な図書を身近な場所に置くようにしましょう。

【家族で話し合った家での約束】

学習が定着、継続していけるように、できるだけ具体的に分かりやすい約束を立ててください。

- (例)
- ・帰ったらすぐに宿題と自主学習
 - ・〇時まで、〇分学習タイム
 - ・月・火・水曜日は、ノーゲームで、自主勉強タイム
 - ・毎週金曜日は、ノーテレビで、読書タイム(金曜読書)
 - ・〇のつく日は、アウトメディア → 新聞を読む。



～いいだいなほ応援団～

コミュニティ・スクール

飯田小 C S だより

令和7年度 第1号

令和7年9月10日

飯田小学校運営協議会

日頃より飯田小学校の教育活動に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
CS活動を皆様に知っていただくため、CSだよりを発行することとなりました。
令和7年度も充実したコミュニティ・スクール（CS）活動ができるよう、
積極的に取り組んでいきたいと思ひます。



「第2回学校運営協議会」を開催

令和7年度第2回学校運営協議会（9月3日）が開催されました。
1学期の学校評価アンケートをもとに、学校支援活動の在り方、
「きれいなあいさつ きれいな言葉 きれいな心」の推進についての
熟議を行いました。

※ 協議内容の詳細は学校のホームページに公開予定です。
ぜひ御覧ください。

※ 次回は11月21日（金）に行います。



令和7年度 学校運営協議会メンバーの紹介



皆さん、
よろしくお願いします！

会長

杉山 邦司

副会長

露木 里江子

委員

小野 逸子

委員

白井 竜之

委員

鈴木 美枝子

委員

学校支援コーディネーター

学校支援コーディネーター

オブザーバー

（東部協働センター）

中村 毅

鈴木 大輔

廣瀬 亜紀子

神谷 匠

＊ ＊ コミュニティ・スクール Q&A ＊ ＊

CS（コミュニティ・スクール）って何ですか？

「学校運営協議会」とは、地域の方に学校の教育活動に御理解いただき、学校運営と学校運営に必要な支援について協議する機関です。この「学校運営協議会」を設置している学校を、「コミュニティ・スクール」と言います。

学校と地域の連携がより強固なものになることで、学校の運営が改善されたり、教育活動をより充実させたりすることができます。地域の方々から貴重なお話をお聞きしたり、地域の資源を学んだりすることで、子供たちの学びはより深いものになります。子供の中にも、自分たちの地域を愛する心情が生まれます。

どんな活動をしているのですか？

「学校運営協議会」で話し合われた課題をもとに、子供たちの教育活動がより効果的になるように支援をしていきます。現在は、教育活動におけるボランティア活動を主に行っています。例えば、「家庭科のミシン学習サポート」「地域を知る学習での安全サポート」など、子供たちの実態と要望によってボランティアの活動は多種多様です。1学期は、2年生・6年生の校外活動の安全サポートを行いました。2学期も様々なボランティア活動を行っていきます。

CS の活動に参加したいです

今年度は、4月に「いいだいなほ応援団」の募集を行いました。今後も子供たちの学習や活動を支援していくために、学習等のボランティアを募集していきます。必要なボランティアが生じた際には、さくら連絡網等でボランティアを随時募集していきます。よろしくお願いします。

2年生 町たんけん



6月18・20日に校区内の町探検に出かけました。

安全サポートボランティアとして保護者の方11名が参加してくださり、子供たちが安全に町探検できるよう、活動を見守っていただきました。

2つのグループに分かれて、飯田幼稚園、東部中学校、東部地区体育館、飯田郵便局、JA とびあ浜松飯田支店、龍谷寺、龍泉寺、稲荷神社を見学しました。



移動中はみ出さないよう声をかけたり、横断中の旗振りをしたりしたよ♪

参加してくださったボランティアの皆さん、暑い中御協力いただきありがとうございました。